

JAIA F☆☆☆☆
環境対応接着剤

折版屋根用
ダイアボンド DU195

ダイアボンドDU195は、折版屋根材両面塩ビ鋼板対折版屋根用断熱材ポリエチレンフォーム、無機質高充填フォームの接着用に開発したノンホルムアルデヒド仕様の機械貼り専用2液形ウレタン系接着剤です。

§ 一般性状

主 成 分	ポリウレタン
外 観	淡黄色半透明
不 振 発 分 (%)	36 ± 2
粘 度 (mPa·s) at20°C	700 ~ 2,000
保 証 期 間 (月) at25°C	10
可 使 時 間 (時間) at20°C	5
硬化剤の混合比 [ハードリオンREまたはRFE]	100 : 7 (重量)

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 接着剤の調整 主剤：硬化剤を100:7の割合で充分に混合します。
3. 塗布方法 塩ビ鋼板面に接着剤を均一に塗布します。
塗布量 90~100 g/m²
ローラーなどの塗布機で塗布して下さい。手ばり工事には向きです。
4. はり合せ 加熱乾燥にて、接着剤中の溶剤を乾燥させてからはり合せます。
目安 70~80 °C × 30~60秒
5. 加圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。
6. 養生 加圧後、一昼夜以上養生してから、成形加工します。

§ 接着性能

はく離強さ(N/25mm)

塩ビ鋼板／PEF

常態	48h	12 *
熱老化	80°C・10日間	12 *
耐寒	-20°C	12 *
耐温湿	40°C・95%・10日間	12 *
耐水	20°C・10日間	12 *

* : ポリエチレンフォーム破壊

塩ビ鋼板：松下電工(株)製NS耐酸被覆鋼板

PEF：東レ(株) 製ペフEC加工品 (40倍発泡4 mm厚)

§ 注意事項

- 低温下では結晶化しますので注意して下さい。結晶化した場合は、温浴などにより加熱しますと元に戻りますので、加熱融解後、均一な層になるまで充分に攪拌してからご使用下さい。
- 接着剤は可燃性のため、作業場周辺での火気の取扱いは厳禁して下さい。
- 接着剤を使用中は、換気に充分注意して下さい。
- 使用後は、必ず冷暗所に保管して下さい。
- 使用器具の洗浄には、トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトンを使用して下さい。
- ポリエチレンフォーム、無機質高充填フォームはプライマー加工品もしくはコロナ処理を使用して下さい。
- プライマーは組成変更される場合がありますので、その都度接着性能を確認して下さい。
- コロナ処理品はコロナ処理後、2ヶ月以内のものをご使用下さい。
- 作業手順は当社施工要領書にそって行って下さい。
- 軒先部の接着は行わないで下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。